

ふるさと
の 182
誇り



博レポート

法善寺のサルスベリ



市指定天然記念物 法善寺のサルスベリ(加賀美)



サルスベリの花



法善寺の二天門、境内の湧水、サルスベリの幹



境内の池



南アルプス市加賀美にある名刹、法善寺の境内。そのすこし奥まった場所に、一本のサルスベリの木があります。樹高十五メートル、根廻り二・八メートル、枝張り東西十三・五メートル、南北十メートル。近くに寄ると、その大きさに圧倒されます。樹齢は、明らかではありませんが、県下随一の大きさを誇るサルスベリで、現在は市の天然記念物に指定されています。

サルスベリは、褐色の樹肌に光沢があり、ツルツルしていることから、木登りがじょうずな猿も滑りそうだというので、この名があります。元々は中国南部が原産で、日本へは江戸時代頃に伝わったといわれています。

ここに掲載した写真を撮ったのは八月中旬、満開に咲く紅色の花を見ることが出来ます。サルスベリは、毎年真夏に花を咲かせ、その花が長く楽しめることから別名「百日紅(ひゃくじつこう)」とも呼ばれています。お寺によれば、九月中旬頃までは見ごろということなので、みなさんもお寺にお参りがてら、訪れてみてはいかがでしょうか。

文／写真 文化財課